



〒085-8505 釧路市黒金町 7 丁目 5 番地
釧路市総合政策部市民協働推進課

男女平等参画に関する

「企業の意識調査」を実施しました



今年度、調査結果を発表した「企業の意識調査」につきまして、シリーズでその概要をお知らせします。

※ 調査結果の全体版は、釧路市ホームページにも掲載していますので、あわせてご覧ください。

(釧路市ホームページから [男女平等参画、企業の意識調査](#) で検索してください)

調査の目的は

民間企業で働く女性の姿を把握するとともに、職場における男女平等参画のあり方を展望することを目的に実施しました。

調査の概要は・・・

調査期間は

平成 28 年 11 月 15 日～12 月 6 日

平成 20 年の前回調査からどんな変化があったのかな？

調査内容は

- (1) 従業員の就労状況について
- (2) 女性従業員の働く環境について
- (3) 従業員に期待する資質・能力について
- (4) 育児や介護に関する制度等について
- (5) 女性の再就職制度について
- (6) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律について
- (7) 非正規従業員と派遣社員の雇用状況について
- (8) ワーク・ライフ・バランスについて
- (9) ハラスメントについて
- (10) 職場における男女平等参画についての意見（自由）

調査対象は

釧路市が実施している労働基本調査の調査対象である事業所で、従業員 5 人以上の民営事業所 700 社を無作為抽出、そのうち、住所不明等 41 事業所を除く 659 事業所を対象としました。

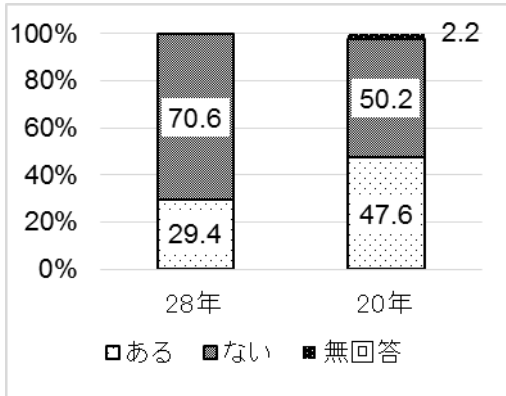
回答状況は

郵送調査数	659 件
有効回答数	170 件
有効回収率	25.8 %

★今回から調査結果をシリーズで紹介します

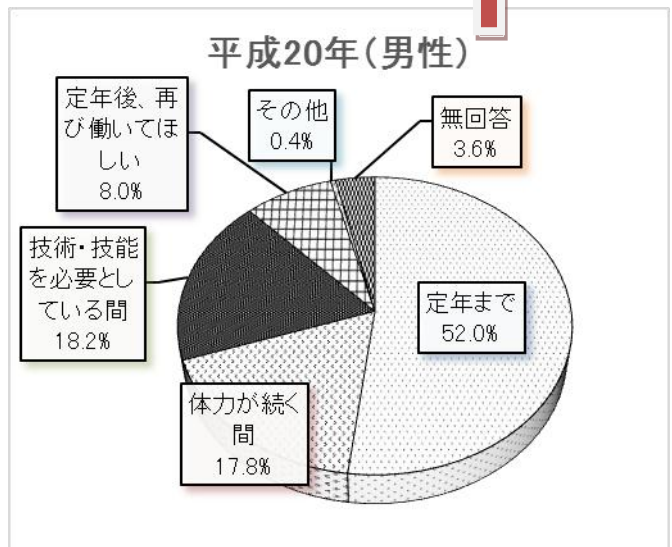
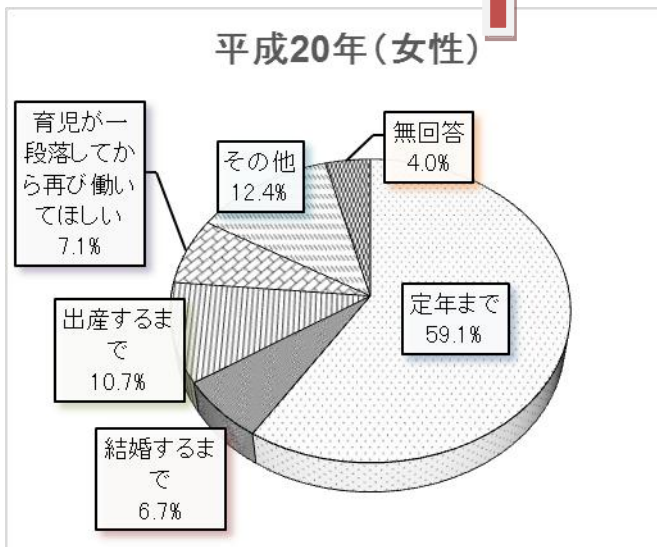
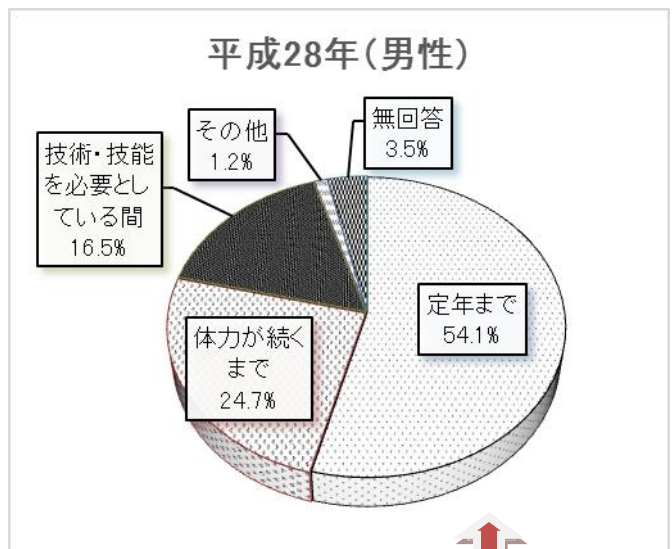
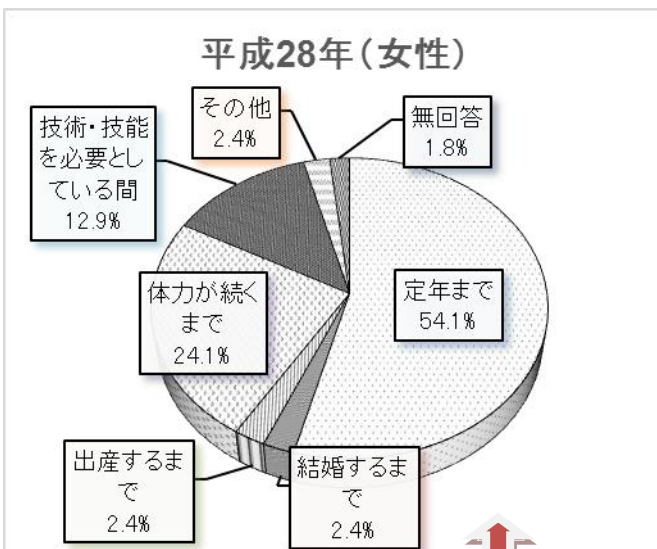


問 貴社では、女性をまったく配置していない仕事がありますか。



▼労働基準法の制限以外で女性をまったく配置していない仕事のある事業所は、平成20年度調査（以下、前回とする。）では47.6%だったのに対して、今回は18.2ポイント減の29.4%であった。

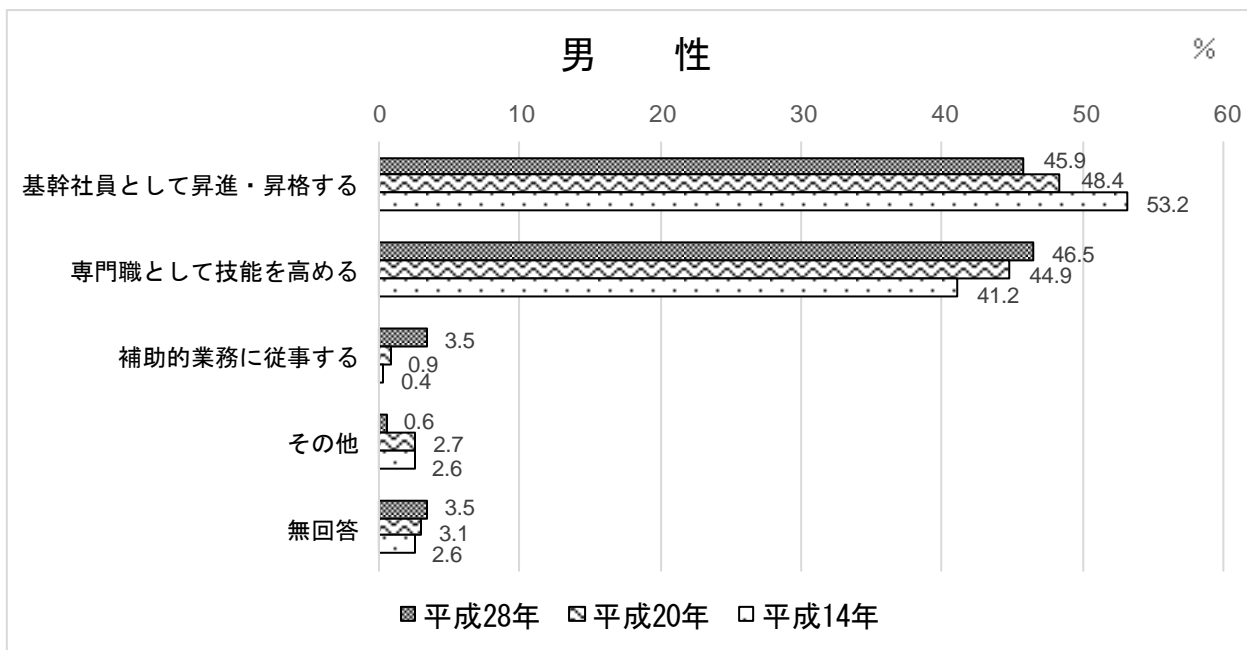
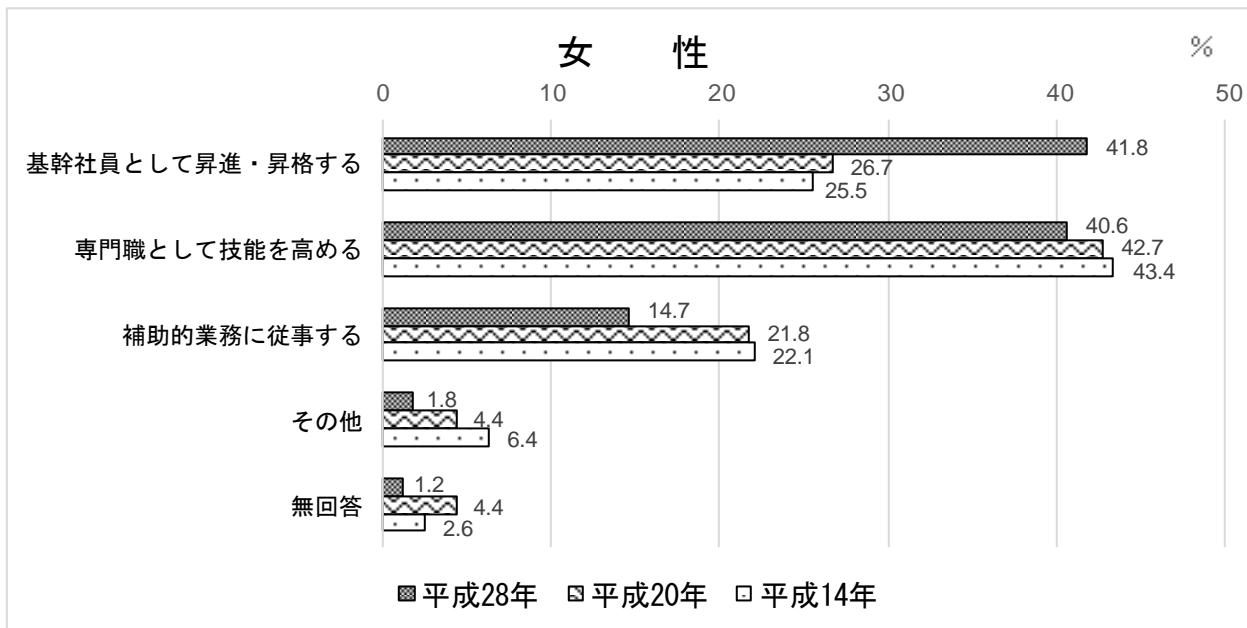
問 貴社では、従業員にいつまで働き続けてほしいと思いますか。



▼女性従業員については「定年まで働いてほしい」が54.1%と多く、「体力が続くまで」が24.1%となった。「結婚するまで」や「出産するまで」はいずれも前回調査時より減少している。

▼男性従業員については、「定年まで働いてほしい」が54.1%、「体力が続くまで」が24.7%となっており、いずれも前回調査時より増加している。

問 貴社では、従業員にどのように働くことを期待していますか。



▼女性従業員に対しては、「基幹社員として昇進・昇格する」41.8%、「専門職として技能を高める」40.6%、「補助的業務に従事する」14.7%の順に多く、前回より「基幹社員として昇進・昇格する」は15.1ポイント増え、「補助的業務に従事する」は7.1ポイント減った。

男子従業員に対しては、「専門職として技能を高める」が前回より1.6ポイント増え46.5%と一番高く、「基幹社員として昇進・昇格する」は0.9ポイント減り45.9%で順位が逆転した。



平成29年度釧路市道外派遣研修事業 参加報告 ～杉本順子さん、廣島悠作さん～

【派遣期間】 平成29年8月24日(木)～27日(日) ※移動日を含む

【派遣先】 国立女性教育会館 (埼玉県比企郡嵐山町)

「平成29年度男女共同参画推進フォーラム～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～」

【報告概要】

★参加したワークショップ等(以下、WS=ワークショップの略)

25日(金) 特別講演「変わる勇氣、変えるアクション～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～」

WS 国際比較研究(日本、ドイツ、デンマーク、ノルウェー)

WS 「検証と参考:地域における男女共同参画の推進」

26日(土) WS 女性とメディア・ICT ～エンパワーメントのための活用術から

WS 知らなかったは命とり! 女性社員育成5つの落とし穴

シンポジウム 「自分が変わる、社会を変える～明日に向けてのロードマップ～」

WS 「次世代につなぐ男女共同参画センター これまでの成果を生かし、これからの役割を考える」

WS 「じえじえじえ! じえんだー・はらすめんと?!」～男女共同参画の「ど真ん中」～

27日(日) WS 「人間らしく、働きたい! わたしたちのディーセント・ワーク宣言!」

WS メンズカウンセリングによる女性支援の実践と有効性

★研修を終えて・・・

男女共同参画という分野を知る意味でたくさんの学びがありました。女性が働くという意味や役割、問題点や苦悩など色んな角度で見て聞いて感じる3日間でした。女性が活躍する場が多く取り上げられている現代ですが、まだまだ一角だけで苦悩や葛藤の中で活動している団体や個人がたくさんいることを知りました。そして、先駆者の方々の熱い思いや活動内容に触れ、後継者の育成が大切だと感じました。それには、先駆者の方々の支援や助言が絶対必要なのはもちろんなのですが、次世代の意欲ある人材を育てる場やチャンスを設けることが大切だと感じました。今回、このような機会を与えていただけて自分自身の糧になったと思います。この釧路がもっと他地域よりも豊かで皆幸せに暮らしていける地域として自分自身が何か貢献できればと思う機会を与えていただいたと感謝いたします。(杉本順子さん談)

これまで、男女共同参画に触れる機会が多い方だと思っていましたが、改めて学ぶ機会はなかったので良い経験をさせていただきました。一つ一つの分科会の内容は非常にレベルが高く、今まで知っていたことの見識をより高めることができましたし、知らない知識も多く学ぶことができました。一番感じたことは、男女共同参画は女性だけが問題意識を持つことではなく、男性こそ意識の改革が必要だと感じました。そして、こうした研修の機会にもっと多くの男性が参加し、本気で一緒に考えることが必要だと思いました。そうした場を地元の地域で持つことも、男女共同参画を広げる一歩になるのではないかと考えています。(廣島悠作さん談)



【問合先】 釧路市総合政策部市民協働推進課

(男女平等参画センター内 ※月曜・祝日は休館)

〒085-0016 釧路市錦町2丁目4番地 釧路フィッシャーマンズワープM003階

TEL 0154-65-1034. FAX 0154-65-1356

E-mail : shi-shiminkyoudou@city.kushiro.lg.jp